

音

音の古い形は𠂔で否と同じ形です。音は hi(ヒ、またはハイ)。“反對”“そむく”という意味で、「背」とは同音同義です。背の音は hi(ヒ、またはハイ)で、「違背」「背反」などと使われます。

倍は、“そむくし意味の音と人との会意形声字で、“人にそむく”という意味の字です。倍反(そむく)。対立が生ずることは、一が二になることで、“一が二にふえる”ことを倍というようになりました。XY という対立が生ずると、XX' 対 YY'、XX' X'' 対 YY' Y'' というように増加します。これが「**倍増**」です。

剖は、倍の意味の音と刀との会意形声字で、音は音の変化したボウ。数が二倍、三倍となるように“切り分ける”ことです。解剖(生物の体を細かく切り分ける)。

培は、倍加(ふやす)の意味の音と土との会意形声字で、“草木に肥えた土を加えてやって、草木を育てる”ことです。“つちかう”こと。

栽培。培養。

陪は、二倍の意味の音と𠂔との会意形声字で、“二つ並んだ崖や山”のことを言います。転じて、その小さい方が大きい方に“つき従う”という意味で陪と言うようになりました。陪従、陪席、陪食。

賠は、二倍の意味の音と貞との会意形声字で、お金(貝)を二倍にして“つぐなう”という意味の字です。相手に損害を与えた場合、そのつぐないとして、二倍に相当する金額を支払うのが普通です。これが「賠償」です。